



広報えひな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

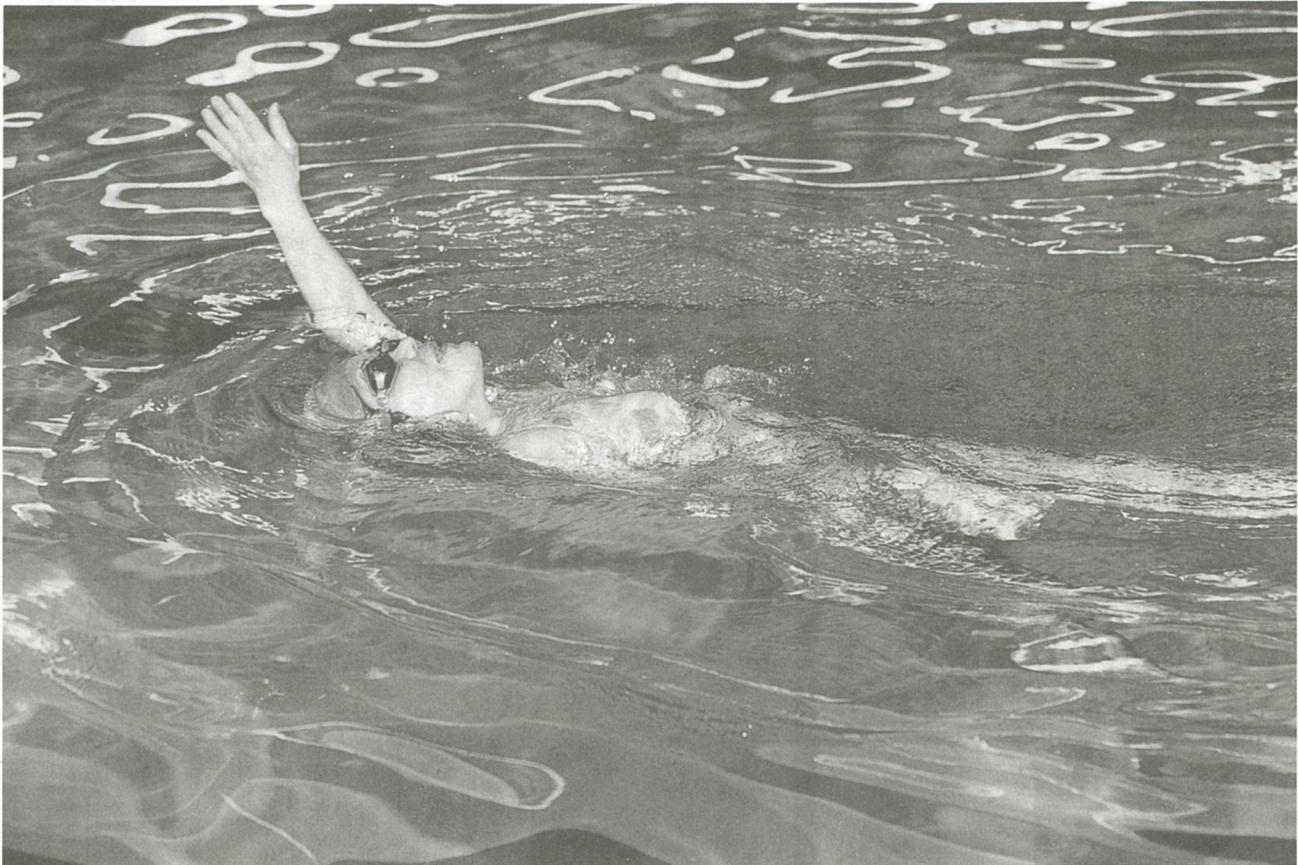
〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地

☎ (0462) 31・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



"ゆめ国体"にむけて

障害に克ち水泳で勝つ



水泳への思いを語る田中さん

やがて、体機能も会話の力も、日常生活に支障のないまでに回復した。「泳げなかつた私が泳げるようになつた。今度は水泳で自分と勝負してみよう」と、県の身体障害者スポーツ大会に毎年出場するようになつたのです。初出場のとき、背泳ぎで25メートルを泳ぎ切るために2分近くを要したもののが優勝。「金メダルを手にして、片手片足ながらも、浮輪なしで背泳ぎができるようになります」と。田中さんはつらつと語る

「昭和60年に脳梗塞で倒れ、右半身と会話が不自由になりました。すっかり落ち込んでしまい、日々暗い気持ちのまま過ごしていました」。障害克服のため、総合リハビリテーションセンター(厚木市七沢)で、水泳の訓練を始めた。「泳ぐ動作をする」とによって失われた体機能を回復するのですが、私は以前から泳げないものでしたから。結局その年は水が怖くて、プールの中を歩くことまでしかできなかつたんです。苦労の末、翌年には浮輪を付けねば泳げるようになり、その後の年には片手片足ながらも、浮輪なしで背泳ぎができるようになります」と。田中さんはつらつと語る

「これまで泳げなかつた人が障害を機に水泳と出会い、泳げるようになつて水泳大会で勝つ。そんな素晴らしいドラマを見させてくれた人が、昨年大阪で開かれた第33回全国身体障害者スポーツ大会で背泳ぎ25メートル2位の、田中閑代さん(国分南二丁目、63歳)」。

忘れられない金メダル

それまで泳げなかつた人が障害を機に水泳と出会い、泳げるようになつて水泳大会で勝つ。そんな素晴らしいドラマを見させてくれた人が、昨年大阪で開かれた第33回全国身体障害者スポーツ大会で背泳ぎ25メートル2位の、田中閑代さん(国分南二丁目、63歳)。

8/29 耐震相談を実施

あなたの家は大丈夫ですか？

第658号 (2)

海老名市は、東海地震等の大震により、被害が出ると想定されています。こうした被害は、古い建物に発生しやすく、平成7年1月17日の大震災でも、老朽化した多数の建物が倒壊し、大きな被害が発生しました。

昭和56年6月には、建築基準法が改正され、耐震基準が強化されました。市内にはこれまでに建築された建物も多くあります。

地震の被害を最小限にとどめ

ため、日々から、今お住ま

いの建物の耐震度を確認して

おこなうことは大事なことです。

そのため、市では「木造住宅

耐震相談」を次の日程で実施し

ます。地震に強いまちづくりの

ポイントなどを含め、専門の相談

員が、あなたの家の「耐震相談」

を個別に行います。お気軽に

ご相談ください。

▽日時 8月29日 (土) 午前

10時～午後3時

▽会場 国分寺豆文化センター

▽費用 無料

▽診断を専門家に依頼される方

は、その費用が必要です。

▽相談員 神奈川県建築士事

務所協会海老名支部会員。

▽申込方法 往復ハガキに希望する科目番号・科目名・住所・学年・性別・年齢・電話番号を必ず記入のうえ、往復ハガキ一枚につき1科目で市中央公民館(〒243-0434 上郷476の2)へ。

▽対象 市内在住・在勤・在学の方

▽申込期限 8月24日

▽申込料金 (金) 10円

▽問い合わせ 公民館講座等の募集要項

▽確認用書類 木造住宅確認用書類

▽建築確認証 昭和56年5月31日以前に建築築確認用書類

▽建築確認用紙 建築確認用紙

▽建築確認用書類 建築確認用書類

▽建築確認用紙 建築確認用紙

▽建築確認用書類 建築確認用書類

▽建築確認用紙 建築確認用紙



掃除が大好きな僕。
掃除機とモップ、タ
ワシを持って遊びま
す。(今泉、佐藤好
宏・典子さんの長男)



外で遊ぶの大好
き。今日もこれから
公園に行ってきます。(国分北、村野政
晃・紀子さんの長男)

村野雅斗ちゃん
1歳

さんざん
おちやん



力持ちな僕。誕生
日に「座り餅」を背
負って歩いたよ。(中
新田、下國勝文・貴
代子さんの2男)



キスが大好き。T
シャツ、靴下の柄に
もチュッ!(中新田、
ラングアンドリュー
・美紀さんの長男)

下國翔太ちゃん
1歳

ラング
ジュリアン
龍介ちゃん

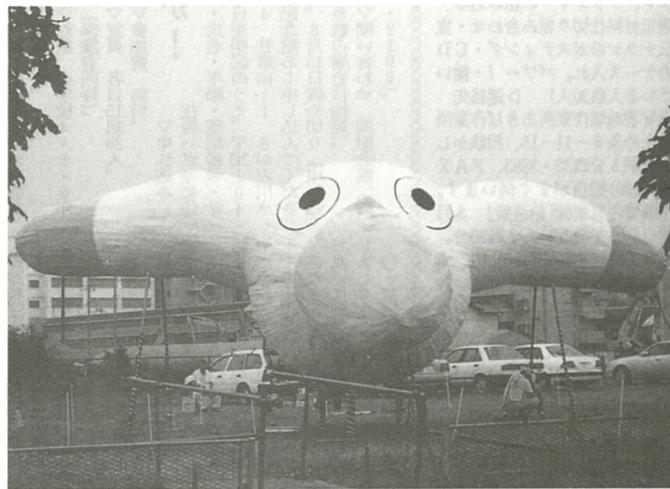


▲少年少女、熱戦を展開

7月12日、運動公園多目的広場で、市子連少年少女スポーツ大会が行われました。ドッジボールに36チーム600人、キックベースボールに4チーム50人が参加して、熱戦を繰り広げました。

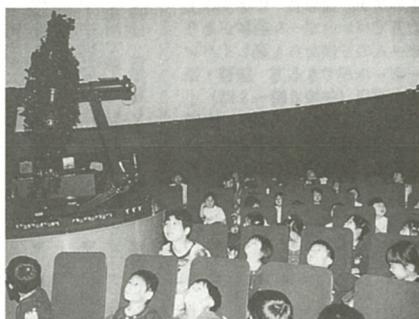
フォトピックス

▶『ジャンボかなべえ』お目見え
市内の野球チーム「海老名クラブ」(坂本孝之監督、クラブ
員20人が、幅15m、高さ3.7m、重さ約500kgのかなべえを制作。
7月29日まで、市役所東側に展示されます。



▼秋には花いっぱい

7月13日、花談の会(時任三枝子会長、会員20人)が「国体花いっぱい運動」の一環で、中新田小南側にコスモス、雷印北側にケイトウの種をまきました。国体開催中が見ごろに。



▲あり姫、ひこ星 見えたかな

7月7日、保育園児プラネタリウム見学が行われ、市立5保育園の園児60人が、「天の川と七夕さま」と題した投影を楽しみました。

▲もぎたてトウモロコシ

7月12日、大谷地区の畑で、「土の日」トウモロコシのもぎとりが行われ、500人の親子連れなどでぎわいました。

田中さんの水泳写真は、
総合リハビリセンターのブ
ールにお邪魔して撮影しま
した。他にも訓練をしてい
る方がいて、お互いで

「バレーボールは好きだが部活動は遠慮したい」という
中高生に、ぜひ指導に来てもらいたい。選手たちには、
せっかく始めたバレーボールだから、いつまでも楽しく
続けて欲しい。自然体でバレーボール界の底辺の拡大に
貢献できればいいですね」と間宮監督は語ります。

編集後記

「がんばれ」「もう少し」と励まし合い、泳ぎ切ると
「わあーっ」と歓声をあげていました。心の暖まるシ
ーンでした。(康)

樂しい仲間

小学生女子バレーボール
海老名ドルフィンズ



「チームプレー」を遊びお互いに教え合うことで、子どもたちに他人を思いやる心と人をまとめる力が備わつてきました」と話すのは、市内小学生の女子バレーボールクラブチーム「海老名ドルフィンズ」の監督・間宮和男さん(写真左端・中新田在住)。チーム名「ドルフィンズ」は、2年前に選手たち自身で考案したもの。チーム名に「海老名」を冠したのは、市内全域からチームメートを募りたいという意図を表しています。

保護者が会計などの運営に携わり、選手の数は6年生から2年生までの25人。練習は毎週水・土曜の2回、社会学校体育館で行っています。当面の目標は、関東小學生バレーボール大会の県予選を突破することです。

楽しくプレーし続ける